

令和6年度 第1回留萌市地域公共交通活性化協議会 議事録

1 日 時 令和6年8月19日（月） 13：30～

2 場 所 留萌市役所3階 3・4号会議室

3 出席者 (1) 委 員 12名（村山委員以外の委員）
(2) 傍聴者 2名（報道機関2名）
(3) 事務局 3名（林事務局長、山下事務局次長、酒井事務局員）

4 会議次第

(1) 開 会

(2) 会長挨拶

(3) 議 題

① 留萌市地域公共交通活性化協議会規約の一部改正（資料1－1、1－2）

② JR留萌線廃止に伴う令和5年度代替交通の運行状況（資料2）

③ 高齢者市内バス利用促進対策事業の実施状況

ア 令和5年度高齢者市内バス利用促進実証実験事業の実施結果
（資料3－1、参考資料1）

イ 令和6年度高齢者市内バス無償化実証実験事業の実施状況（資料3－2）

④ 留萌市における公共交通の現状と課題（資料4）

⑤ 留萌市地域公共交通計画策定スケジュール（資料5、参考資料2）

(4) そ の 他

(5) 閉 会

【会議概要】

(1) 開 会

(2) 会長挨拶

(3) 議 題

① 留萌市地域公共交通活性化協議会規約の一部改正

※関連資料 資料１－１ 留萌市地域公共交通活性化協議会規約の一部改正（案）

新旧対照表

資料１－２ 留萌市地域公共交通活性化協議会規約（一部改正後）

意見・質問

特になし

② J R 留萌線廃止に伴う令和５年度代替交通の運行状況

※関連資料 資料２ J R 留萌線廃止に伴う令和５年度代替交通の運行状況

意見・質問

（高島委員）・ 留萌旭川速達便について、上りの利用人数と下りの利用人数がほぼ同様となっているが、上りを利用した人がそのまま下りも利用したという認識でよろしいか。

（市） ・ 既存バス路線である留萌旭川線もあり、同じ方が乗っているかどうかの把握はしていないが、その可能性が高いと考えている。

③ 高齢者市内バス利用促進対策事業の実施状況

※関連資料 資料３－１ 令和５年度高齢者市内バス利用促進実証実験事業の実施結果

資料３－２ 令和６年度高齢者市内バス無償化実証実験事業の実施状況

意見・質問

（野口委員）・ 無償化事業について、知り合いから大変便利で、使いやすくなり、効果的だとの声を聞いている。

（坂本委員）・ 便によっては座れない方がいるくらい混むことがあるため、急ブレーキの際など、ケガに繋がらないよう注意しながら運行している。

- (市)
- ・ 利便性だけではなく安全面の問題も今後議論していかなければならない。
 - ・ 無償化について評判が良いとの話も聞いているので、市としては今後も継続していきたいと考えているが、予算の問題や利用者の拡充といった課題もある。また、この事業は高齢者やバス事業者への支援以外にも、外出促進による街場の賑わいづくりといった側面もある。
 - ・ 対象者を変えるべきなのかなどについて、次回の協議会の場において議論していきたいと考えている。

④ 留萌市における公共交通の現状と課題

※関連資料 資料4 留萌市における公共交通の現状・課題

意見・質問

- (高畠委員)・ 市民アンケートの結果について、1,200人のうち何人が回答されたのか。
- (市)
- ・ 385人が回答されている。
- (市)
- ・ どのくらいの人にバスを利用いただくのが望ましいか、運輸局の見解を伺いたい。
 - ・ バスとタクシーのすみわけについて、交通事業者としての考えがあるかについて伺いたい。
- (高畠委員)・ 個人的な意見ではあるが、自家用車を持っている人がバスを利用しようとするとダブルコストになるため、一回車を持ってしまうとバスの利用を敬遠する傾向にあるため、いかに若いうちからバスを使ってもらうかがポイントだと考える。
- (野口委員)・ 小学生～高校生のバス無償化など、バスに気軽に乗れる施策を実施し、小さいうちからバスに慣れさせることが有効だと考える。
- (藤井委員)・ 「乗車時間が50分かかる」、「病院受診後に帰る便がない」など色んなところから指摘いただいているが、運転手不足の問題や労働時間の問題から、増便は中々難しい現状にあるが、昼間の市立病院から街場へ行く便の増便を現在検討している。
- ・ 運転手不足の状況からコースの変更は中々難しいと思うが、ダイヤについては日ごろから意見を聞きながら検討をしている。
 - ・ 無償化によって市内線・郊外線の利用人数はかなり伸びていると状況であり、今後も継続してほしいと思っている。

- (佐々木委員) ・ 前年から比べると 10 名以上乗務員が少なくなり、乗務員が足りていない状況や働き方改革の影響を踏まえ、4 月 1 日から営業時間の短縮をした。
- ・ 運転手の多くは高齢者であり、事故のリスクもあるため無理はさせられない。
 - ・ 新しく数人入ってきてはいるが、辞める人の方が多い。
 - ・ 限られた人員で何とか対応しているのが現状であり、更なる営業時間短縮の話も出ているが、不便はかけられないので、現状を維持していきたいと考えている。
 - ・ 乗務員をいかに確保するかが課題であるため、短時間勤務者の雇用を始めるなど、新しい取り組みに着手している。
 - ・ 十分な乗務員が確保できれば利便性向上策にも取り組んでいきたい。
 - ・ デマンドタクシーについては、冬場が課題であり、除雪が追い付いていない場合などはバスだけでなく、タクシーも運行できないことが、不満につながっていると考えているため、何か対策が必要だと考える。
- (橋本委員) ・ 経済界からの視点でいうと高齢者の利便性確保はもちろん、交通事業者を守るためにも、無償化は継続してほしい。
- ・ 病院の勤務経験から言うと、診察後のちょうど帰りたい時間帯のバスがなく、例えばその時間に、病院からるもいプラザ前など街場までシャトルバスを走らせてくれると、街場の賑わい創出にもつながり、一石二鳥だと考える。
 - ・ タクシーについては夜間の飲食店利用者もそうだが、従業員が帰る手段がないとの声も聞いているので、乗合など対策を一緒に考えていきたい。
- (市) ・ いただいた意見を公共交通計画の中に盛り込めるかについて事務局で整理していきたい。

⑤ 留萌市地域公共交通計画策定スケジュール

※関連資料 資料 5 留萌市地域公共交通計画策定スケジュール
 参考資料 2 留萌市地域公共交通計画（素案）

意見・質問

・ 特になし

(4) その他、全体を通じた質疑応答

- | | |
|--------|--|
| (葛西委員) | ・ <u>普段バスに乗らない人はバス路線が分からないので、広報にも力を入れて欲しい。</u> |
| | ・ <u>楽しくバスに乗れるイベントなどを企画してほしい。</u> |
| (珍田委員) | ・ <u>バス無償化をしてくれて助かっているとの話をよく聞いており、今後もぜひ継続してほしい。</u> |
| | ・ <u>老人クラブの場合、会合をは一とふるで行うことが多いため、は一とふる前にバス停がなく不便との声を聞く。</u> |
| (市) | ・ 第2回協議会の際には地域公共交通計画の策定に向け、より活発な議論をしたいと考えているので、ぜひ今回配布した計画（素案）を見直していただき、貴重な意見を提供いただきたい。 |

(5) 閉 会